

2017年5月2日

2017年3月期 決算説明会

本日の説明内容

代表取締役会長 山口 悟郎

1. 事業セグメント区分の変更

代表取締役社長 谷本 秀夫

2. 経営方針

3. 2017年3月期 決算概要

4. 2018年3月期 業績予想

1. 事業セグメント区分の変更

代表取締役会長 山口 悟郎

2014年3月期～2017年3月期の取り組み

2014年3月期～2017年3月期

グループ総合力の強化

グループ内連携の強化

市場別拡販体制の構築

経営基盤の強化

構造改革による採算改善

シナジーを追求した事業再編

シェアアップによる売上拡大及び事業基盤の再構築

2018年3月期～

新経営体制の下、成長ステージに向けて重点市場での事業拡大を図る

事業セグメント区分の変更

2017年3月期

部品事業

セグメント区分	主要事業・子会社
ファインセラミック部品関連事業	ファインセラミック部品 自動車部品
半導体部品関連事業	セラミック材料 有機材料
ファインセラミック応用品関連事業	ソーラーエネルギー 機械工具 医療機器 宝飾・応用商品
電子デバイス関連事業	コンデンサ 機能デバイス 水晶部品 コネクタ AVX Corporation プリンティングデバイス ディスプレイ

機器事業

通信機器関連事業	通信機器
情報機器関連事業	情報機器
その他の事業	情報通信サービス (KCCS)※ 光学部品 その他連結子会社等

2018年3月期～

部品事業

セグメント区分	主要事業・子会社
産業・自動車用部品	ファインセラミック部品 自動車部品 ディスプレイ 機械工具 光学部品
半導体関連部品	セラミック材料 有機材料
電子デバイス	コンデンサ 機能デバイス 水晶部品 コネクタ AVX Corporation プリンティングデバイス

機器・システム事業

コミュニケーション	通信機器 情報通信サービス(KCCS)※
ドキュメントソリューション	情報機器
生活・環境	ソーラーエネルギー 医療機器 宝飾・応用商品
その他	その他連結子会社等

2. 経営方針

代表取締役社長 谷本 秀夫

略歴

代表取締役社長 谷本 秀夫

1982年3月 当社入社

ファインセラミック事業本部配属

2007年2月 ファインセラミック事業本部セラミック2事業部長

2014年4月 ファインセラミック事業本部長

2015年4月 執行役員

2016年4月 執行役員常務

2016年6月 取締役

2017年4月 代表取締役社長 兼 執行役員社長

中期的な事業成長に向けた基本方針

高成長、高収益の実現を目指す

情報通信
市場

自動車関連
市場

環境・エネルギー
市場

医療・ヘルスケア
市場

京セラグループ総合力の発揮

重点市場での売上拡大

既存事業の拡大

新規事業の創出

徹底した原価低減

経営方針及び主な取り組み

徹底した原価低減による 既存事業の拡大

プロセス改革による原価低減

ロボット・IT等の活用による生産性倍増

社内外との連携強化による 新規事業の創出

技術面での社内シナジーの強化

M&A等の外部リソースの活用

売上2兆円の早期実現を目指す

3. 2017年3月期 決算概要

2017年3月期 決算概要

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,479,627	100.0%	1,422,754	100.0%	-56,873	-3.8%
営業利益	92,656	6.3%	104,542	7.3%	11,886	12.8%
税引前当期純利益	145,583	9.8%	137,849	9.7%	-7,734	-5.3%
当社株主に帰属する当期純利益	109,047	7.4%	103,843	7.3%	-5,204	-4.8%
E P S (円)	297.24	-	282.62	-	-14.62	-
設備投資額	68,933	4.7%	67,781	4.8%	-1,152	-1.7%
減価償却費	65,853	4.5%	66,019	4.6%	166	0.3%
研究開発費	58,755	4.0%	55,411	3.9%	-3,344	-5.7%
平均為替レート	ドル	120円	108円			
	ユーロ	133円	119円			
為替変動による 影響額 (前期比)	売上高	約 290億円	約 -940億円			
	税引前当期純利益	約 40億円	約 -260億円			

2017年3月期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
ファインセラミック部品関連事業	95,092	6.4%	97,445	6.8%	2,353	2.5%
半導体部品関連事業	236,265	16.0%	245,727	17.3%	9,462	4.0%
ファインセラミック応用品関連事業	247,516	16.7%	225,176	15.8%	-22,340	-9.0%
電子デバイス関連事業	290,902	19.7%	288,511	20.3%	-2,391	-0.8%
部品事業 計	869,775	58.8%	856,859	60.2%	-12,916	-1.5%
通信機器関連事業	170,983	11.6%	145,682	10.2%	-25,301	-14.8%
情報機器関連事業	336,308	22.7%	324,012	22.8%	-12,296	-3.7%
機器事業 計	507,291	34.3%	469,694	33.0%	-37,597	-7.4%
その他の事業	146,897	9.9%	138,362	9.7%	-8,535	-5.8%
調整及び消去	-44,336	-3.0%	-42,161	-2.9%	2,175	-
売上高	1,479,627	100.0%	1,422,754	100.0%	-56,873	-3.8%

(注) 2016年3月期までは「その他の事業」に含めていた旧京セラケミカルグループの経営成績について、2017年3月期より「半導体部品関連事業」に含めて開示しています。この変更に伴い、2016年3月期の経営成績についても同様の基準で組み替えて表示しています。

2017年3月期 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

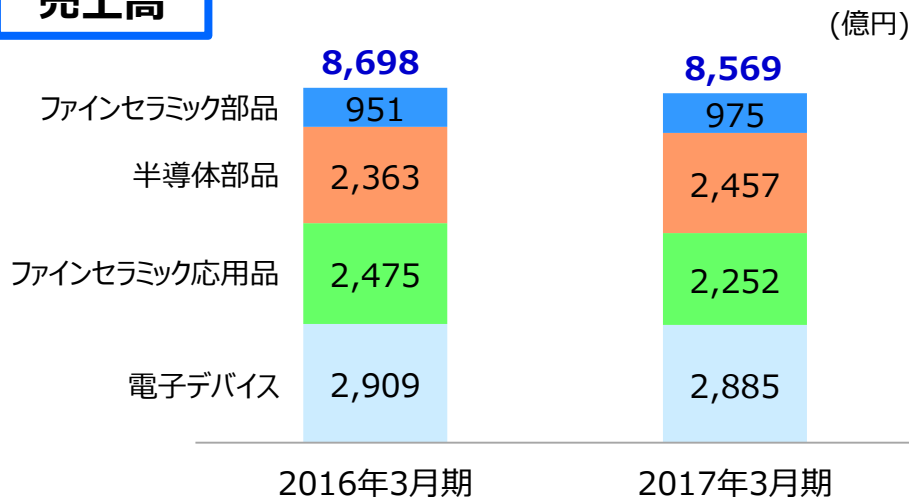
	2016年3月期		2017年3月期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
ファインセラミック部品関連事業	15,745	16.6%	14,512	14.9%	-1,233	-7.8%
半導体部品関連事業	42,232	17.9%	25,662	10.4%	-16,570	-39.2%
ファインセラミック応用品関連事業	16,386	6.6%	15,639	6.9%	-747	-4.6%
電子デバイス関連事業	10,974	3.8%	30,061	10.4%	19,087	173.9%
部品事業 計	85,337	9.8%	85,874	10.0%	<u>537</u>	<u>0.6%</u>
通信機器関連事業	-4,558	-	1,084	0.7%	5,642	-
情報機器関連事業	27,106	8.1%	28,080	8.7%	974	3.6%
機器事業 計	22,548	4.4%	29,164	6.2%	<u>6,616</u>	<u>29.3%</u>
その他の事業	-1,722	-	-544	-	1,178	-
事業利益 計	106,163	7.2%	114,494	8.0%	<u>8,331</u>	<u>7.8%</u>
本社部門損益等	39,420	-	23,355	-	-16,065	-40.8%
税引前当期純利益	145,583	9.8%	137,849	9.7%	-7,734	-5.3%

(注1) 前頁(注)ご参照

(注2) 注1により、2016年3月期の「半導体部品関連事業」には約120億円の資産売却益を計上しています。

2017年3月期 決算要約 部品事業

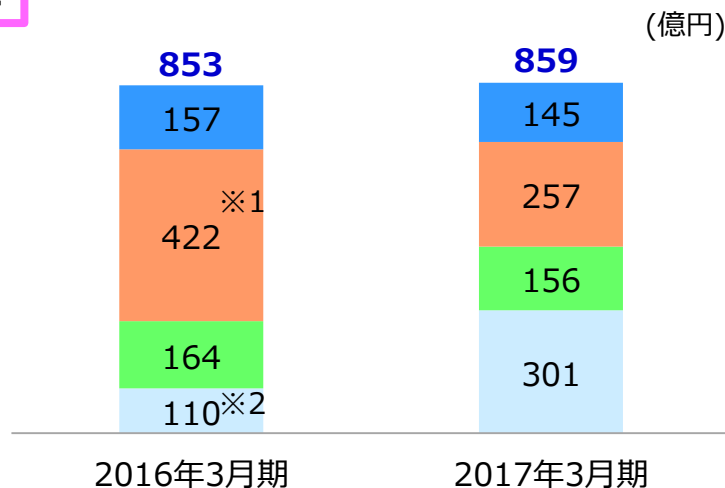
売上高



<主な増減要因>

- ✓ ファインセラミック部品及び半導体部品の売上は増加したものの、ソーラーエネルギー事業の減収を主因としたファインセラミック応用品の売上減により微減

事業利益



- ✓ 円高の影響はあったものの、原価低減により横ばい
- ✓ 前期には資産売却益を計上していた一方、営業権の減損損失などの費用を計上

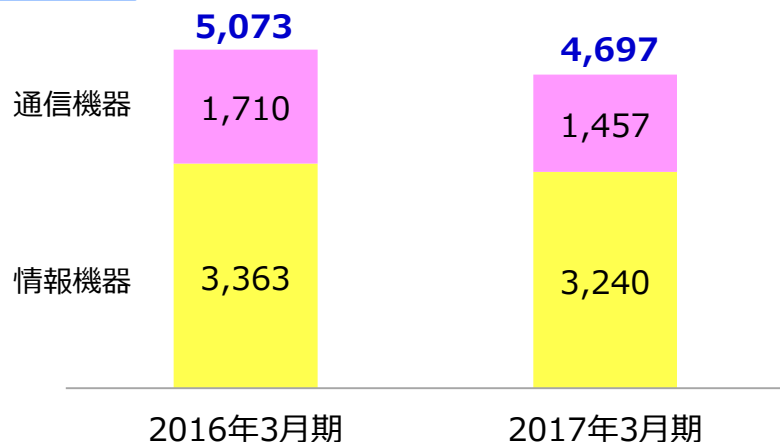
※1 半導体部品関連事業の資産売却益約120億円を含む

※2 電子デバイス関連事業の営業権の減損損失等約▲180億円を含む

2017年3月期 決算要約 機器事業

売上高

(億円)

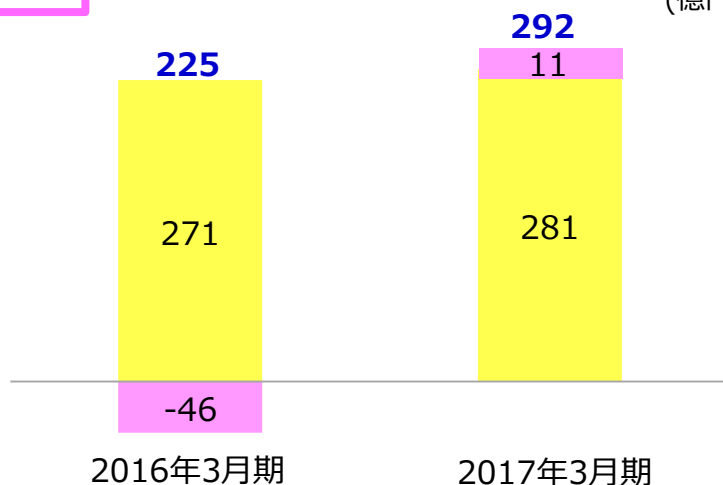


<主な増減要因>

- ✓ 通信機器での製品戦略の見直しに伴う販売台数の減少により減収

事業利益

(億円)



- ✓ 通信機器における高耐久モデルへの移行及び生産・開発拠点の集約等の構造改革効果に加え、情報機器でのコスト低減により増益

4. 2018年3月期 業績予想

2018年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,422,754	100.0%	1,500,000	100.0%	77,246	5.4%
営業利益	104,542	7.3%	120,000	8.0%	15,458	14.8%
税引前当期純利益	137,849	9.7%	150,000	10.0%	12,151	8.8%
当社株主に帰属する当期純利益	103,843	7.3%	105,000	7.0%	1,157	1.1%
EPS (円)	282.62	—	285.77	—	3.15	—
設備投資額	67,781	4.8%	80,000	5.3%	12,219	18.0%
減価償却費	66,019	4.6%	75,000	5.0%	8,981	13.6%
研究開発費	55,411	3.9%	60,000	4.0%	4,589	8.3%
平均為替レート	ドル	108円	108円			
	ユーロ	119円	115円			
為替変動による影響額 (前期比)	売上高	約 -940億円	約 -65億円			
	税引前当期純利益	約 -260億円	約 -40億円			

(注) 2018年3月期予想のEPSは、2017年3月期の希薄化後の期中平均株式数を用いて算出しています。

2018年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	230,229	16.2%	246,000	16.4%	15,771	6.9%
半導体関連部品	245,727	17.3%	248,000	16.5%	2,273	0.9%
電子デバイス	240,798	16.9%	254,000	17.0%	13,202	5.5%
部品事業 計	716,754	50.4%	748,000	49.9%	31,246	4.4%
コミュニケーション	252,641	17.7%	269,000	17.9%	16,359	6.5%
ドキュメントソリューション	324,012	22.8%	350,000	23.4%	25,988	8.0%
生活・環境	149,207	10.5%	153,000	10.2%	3,793	2.5%
機器・システム事業 計	725,860	51.0%	772,000	51.5%	46,140	6.4%
その他	22,066	1.5%	16,000	1.0%	-6,066	-27.5%
調整及び消去	-41,926	-2.9%	-36,000	-2.4%	5,926	-
売上高	1,422,754	100.0%	1,500,000	100.0%	77,246	5.4%

(注) 2018年3月期より事業セグメント区分を変更しています。この変更に伴い、2017年3月期の経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

2018年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

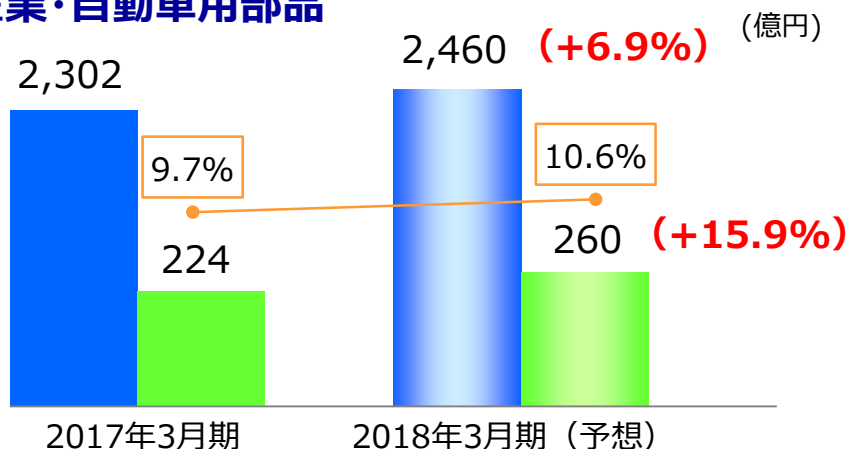
	2017年3月期		2018年3月期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	22,442	9.7%	26,000	10.6%	3,558	15.9%
半導体関連部品	25,310	10.3%	26,000	10.5%	690	2.7%
電子デバイス	30,558	12.7%	33,000	13.0%	2,442	8.0%
部品事業 計	78,310	10.9%	85,000	11.4%	6,690	8.5%
コミュニケーション	8,528	3.4%	13,000	4.8%	4,472	52.4%
ドキュメントソリューション	28,080	8.7%	35,000	10.0%	6,920	24.6%
生活・環境	1,345	0.9%	3,000	2.0%	1,655	123.0%
機器・システム事業 計	37,953	5.2%	51,000	6.6%	13,047	34.4%
その他	-1,759	-	-3,000	-	-1,241	-
事業利益 計	114,504	8.0%	133,000	8.9%	18,496	16.2%
本社部門損益等	23,345	-	17,000	-	-6,345	-27.2%
税引前当期純利益	137,849	9.7%	150,000	10.0%	12,151	8.8%

(注) 2018年3月期より事業セグメント区分を変更しています。この変更に伴い、2017年3月期の経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

2018年3月期 事業セグメント別業績予想（1）

■ 売上高 ■ 事業利益 ● 利益率 () 前期比増減率

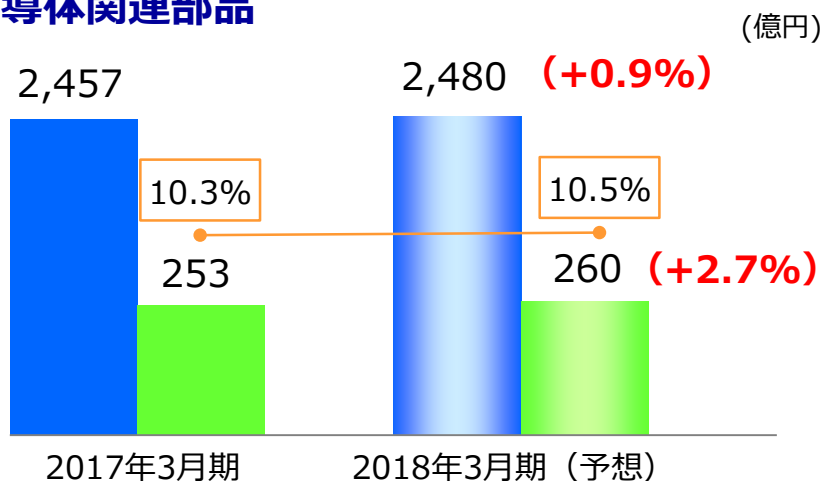
産業・自動車用部品



<主な増減要因>

- ✓ 半導体製造装置及び自動車関連市場の好調な生産活動による主要製品の売上増
- ✓ 高付加価値製品の売上増による増益

半導体関連部品

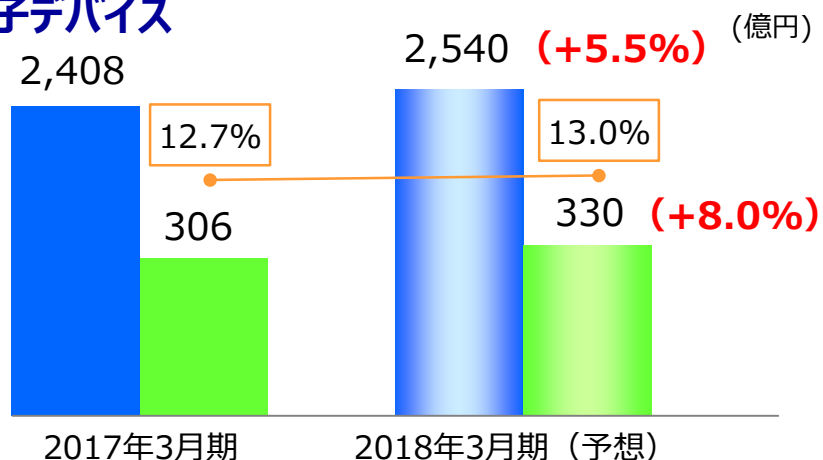


- ✓ 有機材料事業の売上は製品ラインナップの見直しにより減少を見込むものの、通信インフラ及びスマートフォン向けセラミックパッケージの売上増により微増
- ✓ 製品ミックスの改善及び原価低減により増益

2018年3月期 事業セグメント別業績予想（2）

■ 売上高 ■ 事業利益 ● 利益率 () 前期比増減率

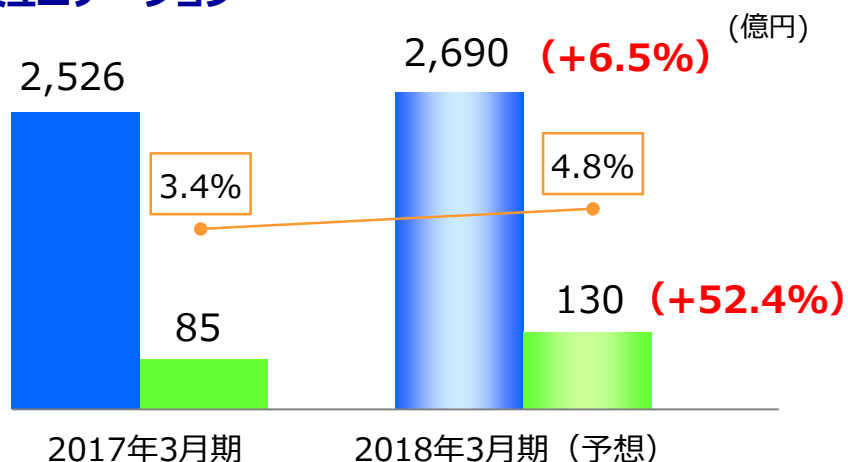
電子デバイス



<主な増減要因>

- ✓スマートフォン向け電子部品及び産業機器向けプリンティングデバイスの売上増
- ✓増収による増益

コミュニケーション

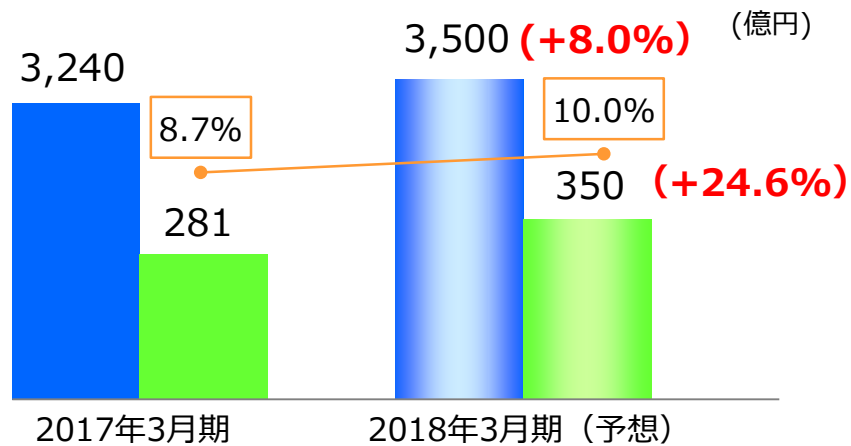


- ✓携帯端末の新製品投入及びICT・エンジニアリング事業の売上増により増収
- ✓増収及び通信機器の収益性改善により増益

2018年3月期 事業セグメント別業績予想（3）

■ 売上高 ■ 事業利益 ● 利益率 () 前期比増減率

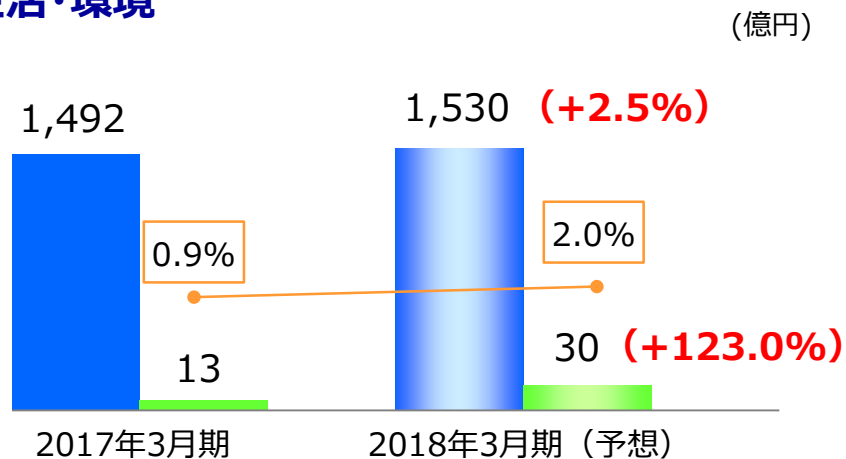
ドキュメントソリューション



<主な増減要因>

- ✓ 新製品の積極的な拡販及びソリューションビジネスの拡大による売上増
- ✓ 増収効果に加え、原価低減及び生産性改善により増益

生活・環境



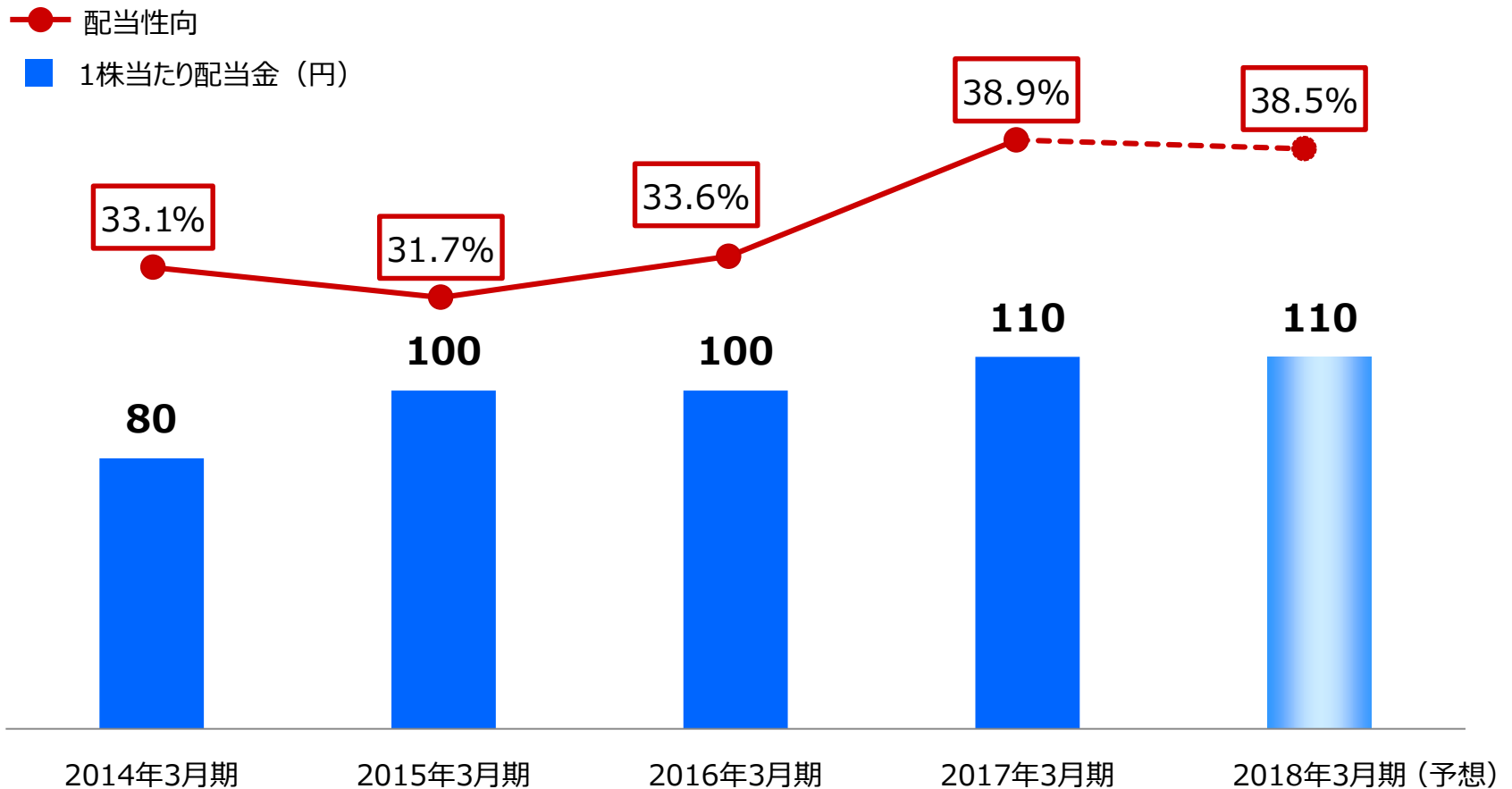
- ✓ 国内及びアジアでの太陽光発電関連事業の拡大に加え、医療機器の売上増により増収
- ✓ 増収及び原価低減により増益

配当予想

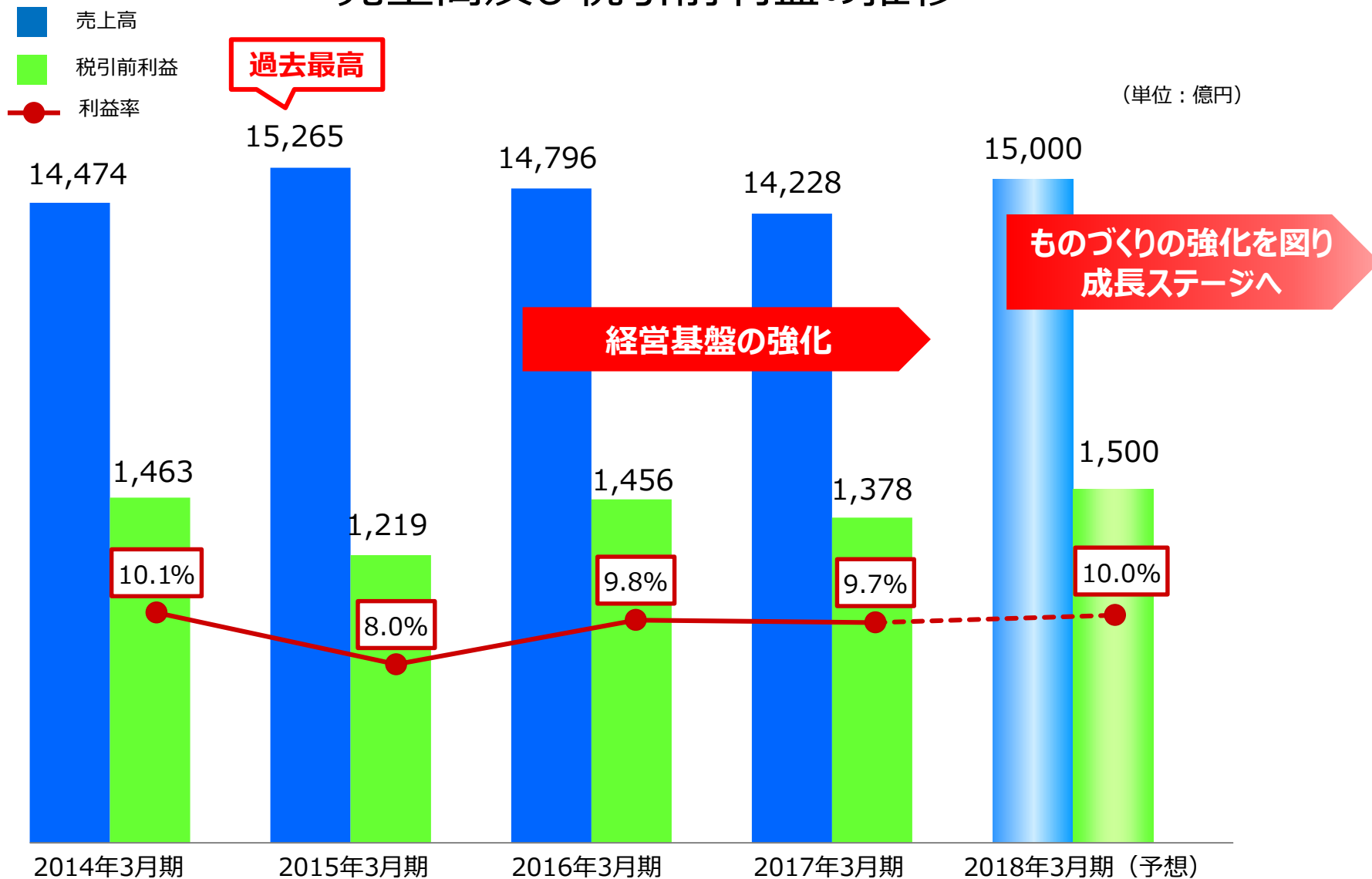
配当性向を目安とする配当方針

30%以上

40%程度の水準



売上高及び税引前利益の推移



将来予想に関する注意事項

この資料の記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(Forward-Looking Statements)が含まれています。かかる将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものです。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 当社の海外における売上に由来する収益の大半に影響を与える様々な輸出リスク
- (4) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (5) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (6) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (7) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (8) 電力不足や電力費の上昇が当社の生産活動及び販売活動に及ぼす影響
- (9) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (10) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (11) 科学技術分野等の優れた人材の確保が困難となる事態
- (12) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (13) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (16) テロ行為、疾病の発生、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する有価証券やその他の資産の価値の変動及び減損処理
- (20) 当社の長期性資産、営業権並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、これらの将来予想に関する記述に明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述について、これらの内容を更新し公表する責任を負いません。